

真岡駅・SLキューロク館 真岡市台町2474-1
2474-6



真岡駅東口の様子

木県や沿線自治体、民間企業が出資する真岡
鉄道株式会社による運行を開始しました。

真岡駅は、SLを形取ったデザインで、駅
の機能だけでなく、真岡駅前交番や真岡駅子
ども広場などの施設もあります。関東の駅1
00選にも選ばれています。また、真岡鐵道
の車両基地があり、SLが置かれているの
も真岡駅です。

真岡鐵道の歴史は、明治45年4月に真
館線として、下館～真岡間が開通し、その
後大正7年に真岡～七井間、大正9年12
月に七井～茂木間が開通しました。以来約
100年間、芳賀地区の住民の重要な交通
手段として存続してきました。その間、
廃止の決定がなされるなど、存続の危機も
ありましたが、昭和63年4月11日に栃



SLキューロク館



SLキューロク館のなかの様子

真岡駅の東側にあるSLキューロク館
は、館内に展示してある9600形蒸気
機関車が、「キューロク」の愛称で多くの
人々に親しまれてきたことから名付けられ
ました。キューロク館には、SLだけでな
くディーゼル車や貨物車、客車など多くの
車両が展示してあります。グッズショップ
もあります。入場は無料です。